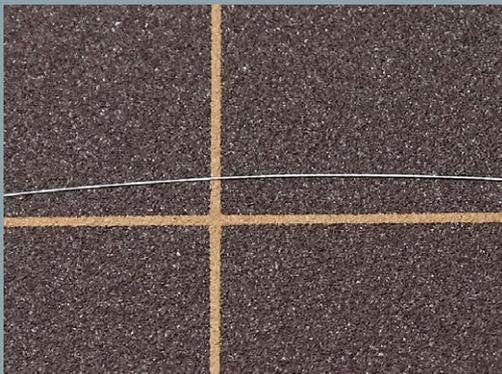
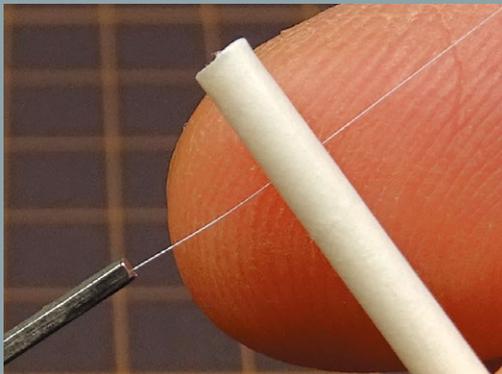


「ホワイトリギング」の巻き癖のとり方

ホワイトリギングはこれまでのメタルリギングシリーズよりも繊細なため取り扱いには注意が必要です。商品には個体差はありますが多少の巻き癖がありますがこれを無理に引っ張って修正しようとすると線が丸まってしまう。ここでは簡単に巻き癖を修正する方法をご紹介します。



ホワイトリギングはこれまでのチタン製のメタルリギングほどの弾性（外力によって変形を生じた物体が、その力を取り去った時に元の状態に回復する性質）はないため、リールから切り出した状態では僅かながら巻き癖が付いている場合があります。この巻き癖を無理に取ろうと引っ張るとよりひどくなってしまう。このような場合の対処法をご紹介します。



写真では奥の方に曲がるような癖がついている状態。一端をピンセット（写真はタミヤのピンセットベンダー）で固定し、指と適当な棒（写真は綿棒の軸）でそっと挟み、ゆっくりしごいて曲がりを修正します。



修正後のホワイトリギング。表面の塗膜のおかげで先端のごく一部をピンセットでつまんでも作業中に滑って回転するといったことがないため、修正はそれほど難しくはありません。

注意点として、ホワイトリギングを保管する時はリールの縁にある切れ込みには挟まないほうが良いでしょう。くの字に折れ曲がった部分は真っ直ぐな状態に戻すことが出来ず無駄になってしまうからです。小さく切ったマスキングテープで押さえておくとよいでしょう。

